

1. 新教科「グローバル協創」(文科情報科必須)
=文科情報科全員の必修 「学びのコア」
2. **授業研究と公開研究会(全職員, 全生徒)**
=対話の深まる問いの工夫 「探究(コア)と教科をつなぐ」
3. イノベーションプログラム(希望者)
=TISP,米国短期留学 「社会(イノベーター)とつなぐ」
4. 海外研修・国際協働プログラム(希望者)
=台湾・ベトナム・シンガポールとの協働プログラム
「世界とつなぐ」
5. 大学教育先取り履修(希望者)
=「植物の栽培と管理」「データサイエンス入門Ⅰ・Ⅱ」
「大学の学びとつなぐ」



授業者による目的の説明



授業のオンデマンド配信

問いでつなぐ探究×教科×大学入試



各教科の分科会

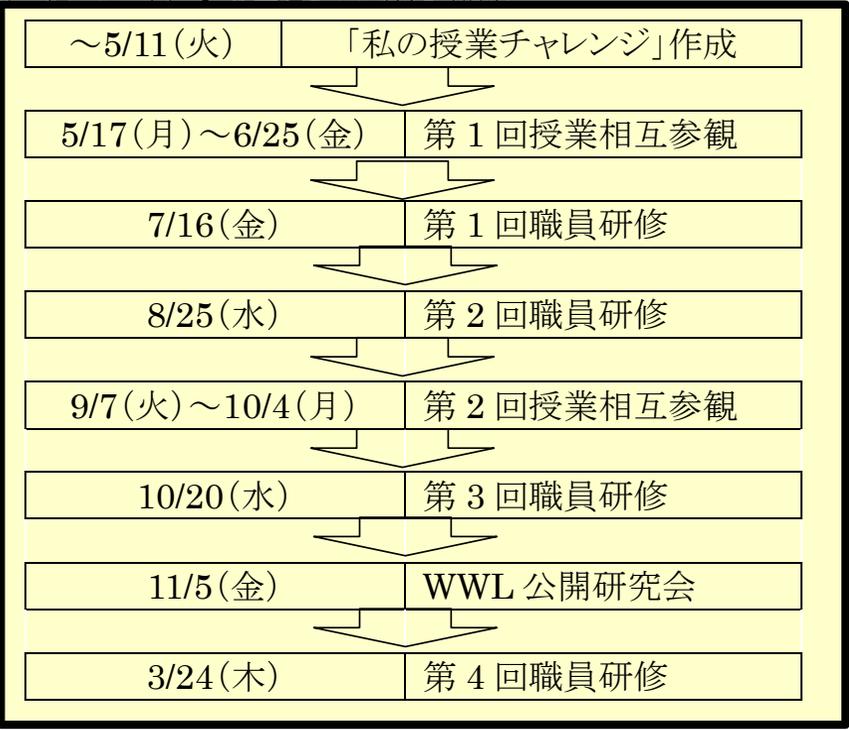
まとめ 大宮高等学校での「問い」、これまでと何が違い、どのような充実を

- 学習観、授業観の変化を捉えた、授業と学習活動の設計
- 大人の知識・経験の伝達から、探らせ、求める学習への誘導（支援）
- 知識・技能の「徹底習得」は引き続き重要、
探究学習との「両立」から → 「往還」へ
くカリキュラム開発拠点校としてのミッション
- 「教科等の学習」が手掛かりになる（活用できる）「探究」、
探究からより専門的内容への興味につなげる
→ 生徒に生じる「問い」をつかむ
- 「疑問」「興味」「アイデア」を表出・修正し合う学習活動、
いかに「問い」を指導・学習支援に活かすか？

宮崎大学・新地理事の講評

知識伝達型の教育から、自身の学習を調整させ、
目標達成させる能力、態度を育き、

	教科目	学年	授業者	授業クラス	単元	授業の視点
公開授業 I	国語 国語総合	1年	鈴木優子	1年E級	伊勢物語	・比較を通して読みを深める
	数学 数学A	1年	黒木聖弥	1年D級	確率	・数学と実生活の話題とを繋げるための「問い」の工夫 ・生徒間の意見交換が活発に行われる授業づくり
	英語 総合英語	1年	佐藤研一郎	1年H級	CROWN I-Lesson 8	・4技能を意識した授業作り ・生徒のアウトプット活動を促す工夫
	地歴公民 地理B	3年	諸富恒一郎	3年EF級	オーストラリア地誌	・既習知識を活用する場面を設定し、知識定着を促す ・一見、関係がないものに、関係を見つける力を強化する
	理科 科学と人間生活	1年	吉富千佳	1年A級	熱の性質とその利用	・生徒自身が抱いた「問い」を主題とした探究的活動 ・科学的な思考力・表現力を高めるための学習活動の工夫
	保健体育 保健	2年	阿部祥子	2年I級	食品と健康	・生徒自身が抱いた「問い」を主題とした探究的活動 ・グループ ・発表を
	【探究】グローバル協創・グローバル協創I	1年	木場康典	1年H級 2年H級	プロジェクト型学習(PBL)	・プロジ ・電子付
公開授業 II	国語 現代文	2年	愛甲孝夫	2年I組	詩歌	・これま
	数学 数学III	2年	眞方圭太	2年A級	極限	・生徒同 ・「授業
	英語・コミュニケーション英語II	2年	甲斐吉樹	2年B級	CROWNII-Lesson7	・ICTを活 ・生徒の
	地歴公民・世界史B	2年	田上敬一	2年F級	西ヨーロッパ世界の成立	・歴史的 ・グルー
	理科 生物	2年	猪股秀一	2年H級理系	光合成	・ICTを活 ・過去の
	芸術 音楽II	2年	大崎美穂	2年E級	創作	・イメー (ヴァイ 造する活
	家庭 家庭基礎	1年	高野真由美	1年D級	子どもと共に育つ	・「問い ・様々な
	【探究】グローバル協創・グローバル協創II	2年	木場康典	1年H級 2年H級	課題研究	・WWL海外 ・「グロ



1. 新教科「グローバル協創」(文科情報科必須)
=文科情報科全員の必修 「学びのコア」
2. 授業研究と公開研究会(全職員, 全生徒)
=対話の深まる問いの工夫 「探究(コア)と教科をつなぐ」
3. **イノベーションプログラム(希望者)**
=TISP,米国短期留学 **「社会(イノベーター)とつなぐ」**
4. 海外研修・国際協働プログラム(希望者)
=台湾・ベトナム・シンガポールとの協働プログラム
「世界とつなぐ」
5. 大学教育先取り履修(希望者)
=「植物の栽培と管理」「データサイエンス入門Ⅰ・Ⅱ」
「大学の学びとつなぐ」



多様な人々と協創する

イノベーター

TISP2022@MIYAZAKI

i.school流の イノベーション設計

未来ニーズ
未来の誰がどのようなニーズにこたえる製品・サービスをつくるのか？

1
目的を
考える

2
手段を
考える

企業のどの強みを生かすのか？

3
手段アイ
ディアを
考える

目的を達成するための手段アイデアを発想し、具体的な形にする

4
共有し、
振り返る

アイデアを他者に展示・発表し、振り返り、次への指針を得る。

公共設備が地域のアイデンティティになる



年齢や職業、障害の有無が関係ないごちゃまぜの環境が一般的になる



Ajuntament de Barcelona Urban Mobility Plan of Barcelona 2013-2018

SUPERBLOCKS MODEL

Current Model

Superblocks Model

<https://seikatsusoken.jp/seikatsuken2050/15755/>

<https://www.barcelona.cat/ja-superilla-barcelona/en>

- BIKES MAIN NETWORK (BIKE LANE)
- BIKES SIDEWAYS-REVERSE DIRECTION
- FREE PARKING OF BIKES
- RESIDENTS VEHICLES
- URBAN SERVICES AND EMERGENCY
- TRAM CARRIERS
- ACCESS CONTROL
- BASIC TRAFFIC NETWORK
- SINGLE PLATFORM (PEDESTRIAN PRIORITY)

未来シナリオから未来ニーズを考える



ETHICAL SHUKATSU

はたらくで世界を良くしたい

「しんがら」の未来、社会課題に本気で取り組む
「しんがら」の未来、社会課題に本気で取り組む
「しんがら」の未来、社会課題に本気で取り組む

Degree **METATHON**

THE WORLD'S FIRST MARATHON IN THE METAVERSE

年齢や職業、障害の有無が関係ないごちゃまぜの環境が一般的になる

April 26, 2022 - 6PM EDT

TOKYO TREAT

Bite into Japan!

Enjoy a monthly box full of Japanese candy and snacks delivered to your door by TokyoTreat!

GET STARTED

Gift Options Available

TokyoTreat Mission

TODAY'S PROMO

ココ調 2022年 外国人観光客

日本のどこに注目しているのか?

高千穂シラス様



川上木材様



地元企業のフィールドワークで生かせそうな強みを考える



井崎製作所様





大学生とWWL連携校の高校生でアイデアを考える



2016-2021年大学生参加者

●**アジア** フィリピン大学, インド工科大学ハイデラバード校3, 北京大学, シンガポール国立大学2, 泰日工科大学(タイ)

●**アメリカ・カナダ** カリフォルニア大学バークレー校3, ブラウン大学, メリーランド大学カレッジパーク校, テキサス大学,
ペンシルヴァニア大学, マクマスター大学

●**オーストラリア** メルボルン大学, クイーンズランド工科大学(豪, 官僚)

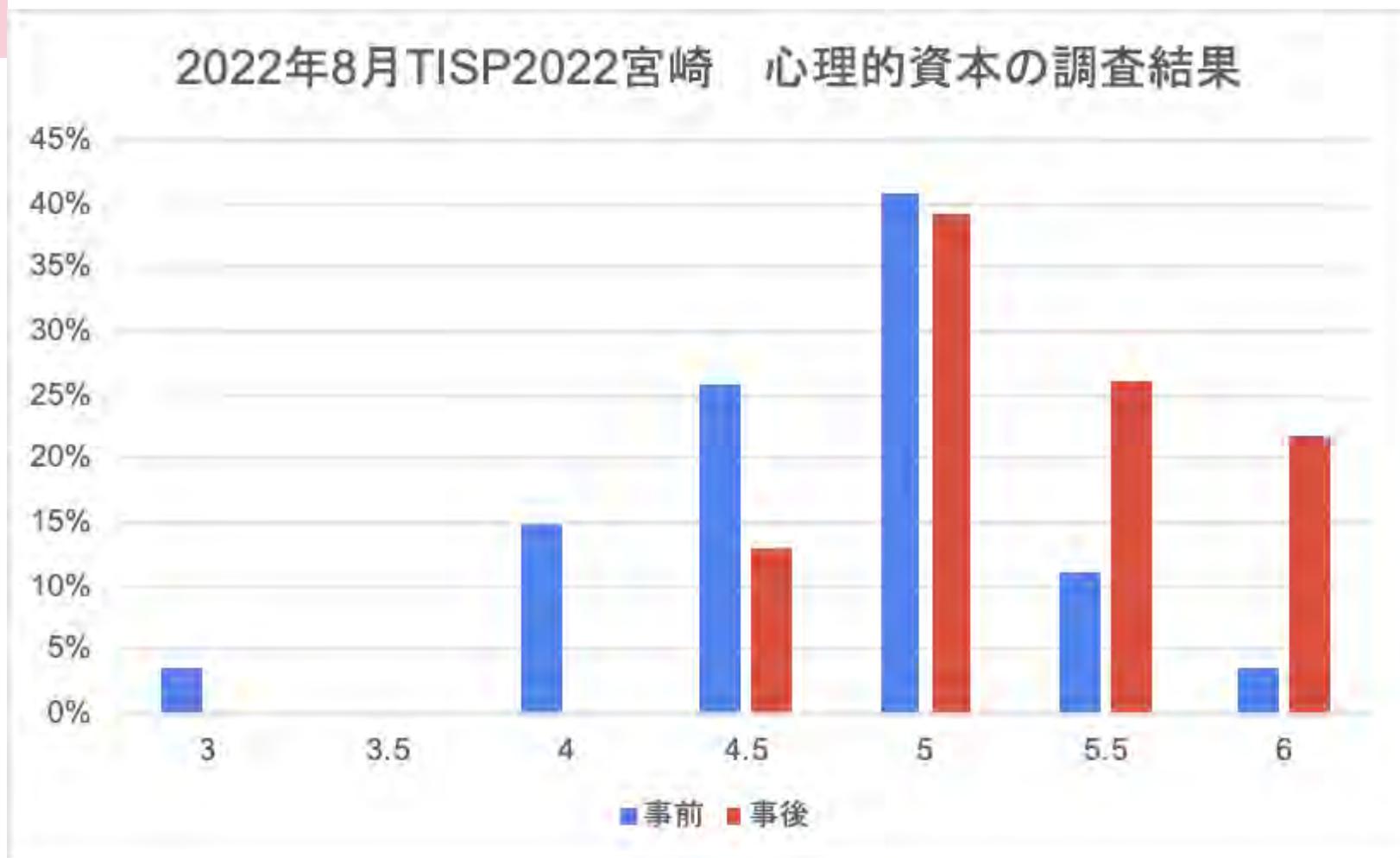
●**ヨーロッパ** スイス連邦工科大学ローザンヌ校, エコールポリテクニック, ベルリン工科大学, アムステルダム大学, ウィーン大学
ライプチヒ大学(独), ロンドン大学(英, 国連職員), , ヨーク大学(英), HEC経営大学院(仏), カルロス3世大学(西)

●**日本** 東京大学47, 一橋大学3, 信州大学, 千葉大学2, 早稲田大学, 津田塾大学, 慶応義塾大学3, 東京学芸大学, 中央大学,
山梨学院大学, 九州大学

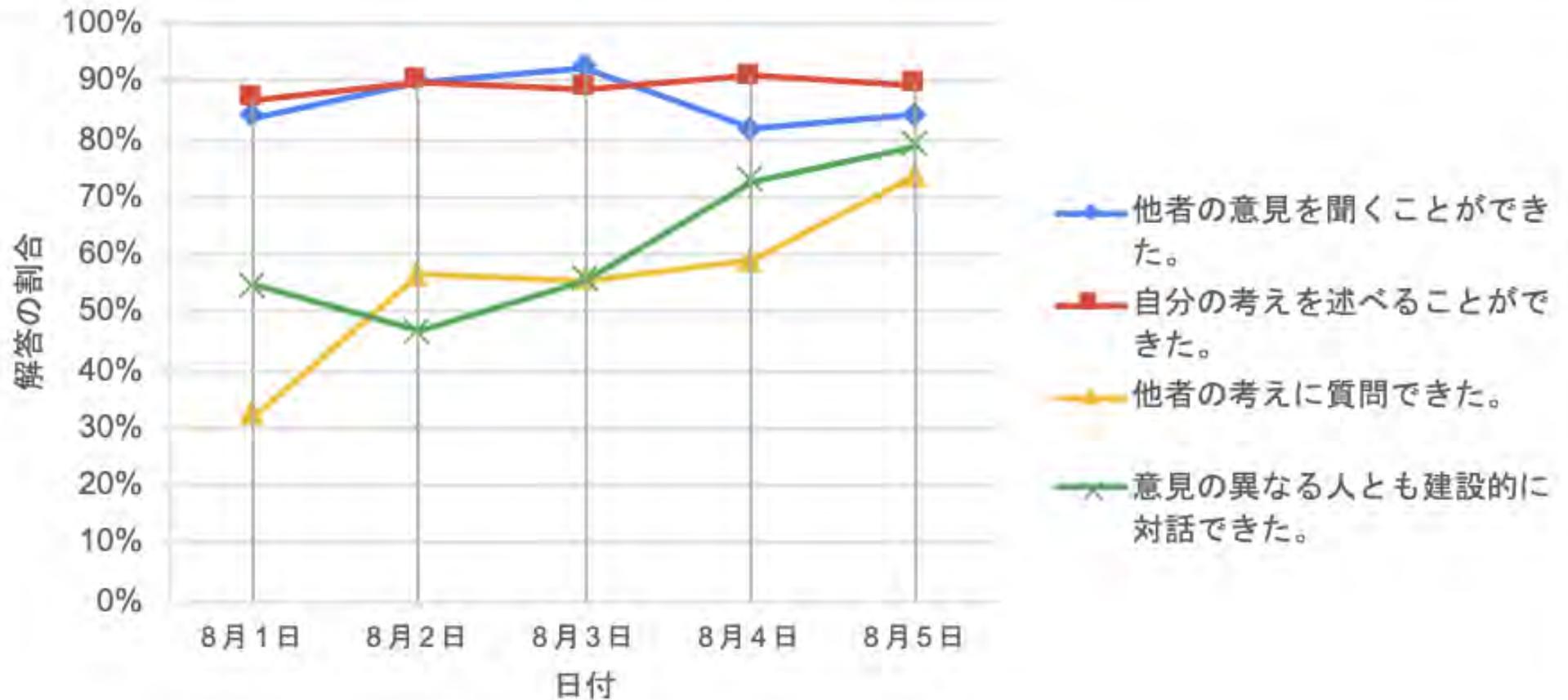


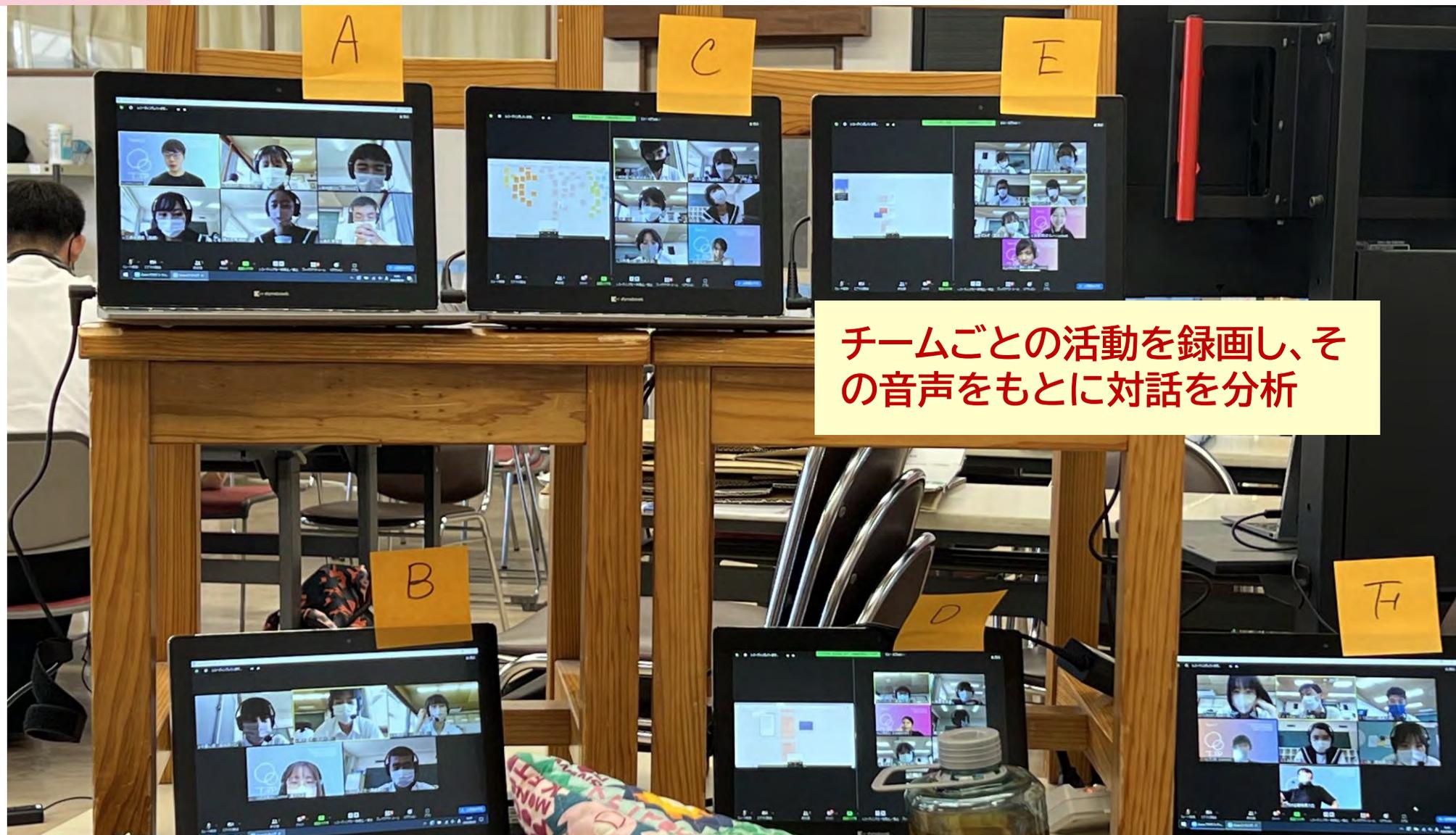
●高校生のコメント

「TISPに参加する人は、すべてのみんなが志が高いので、自分もその高いレベルに追いついていくために必死で5日間を過ごしました。すると、知らないうちにこれだけ頑張れている自分があるんだと、成長を感じました。限界を超えた気がしました。」

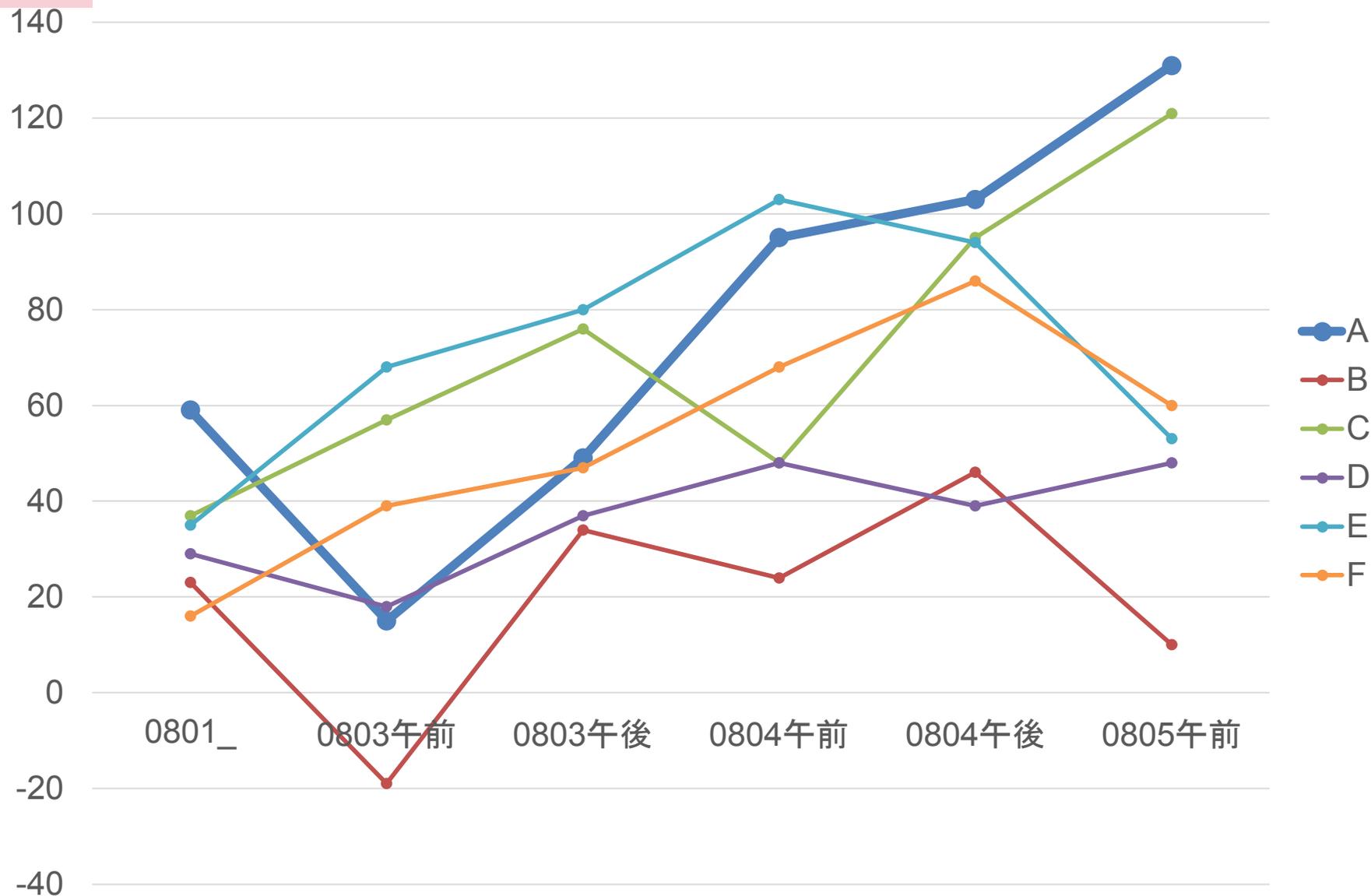


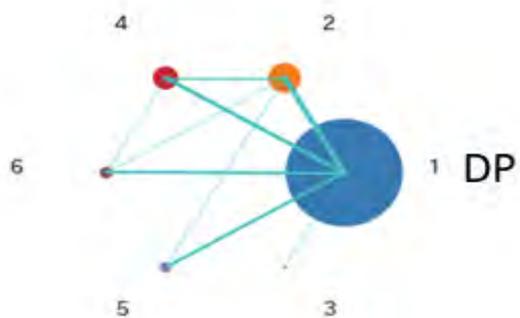
「心理的資本」の尺度による、事前・事後の調査結果
自己効力感、希望、レジリエンス、楽観性からなる。



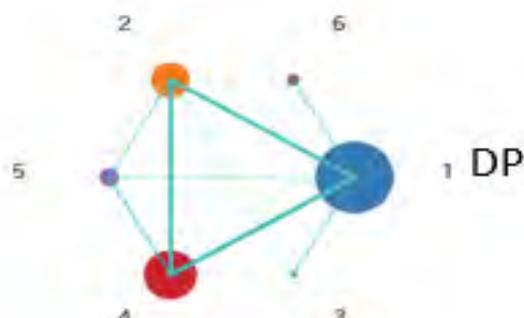


各チームの活発な会話スコアの変化

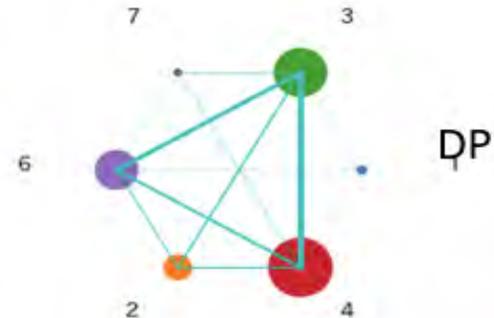




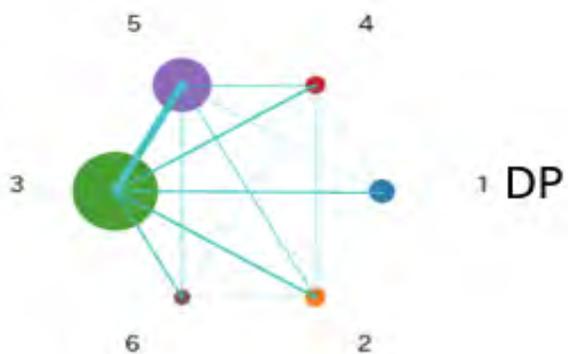
8/3午前



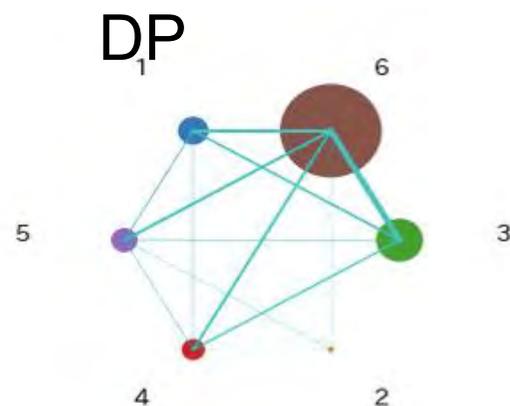
8/3午後



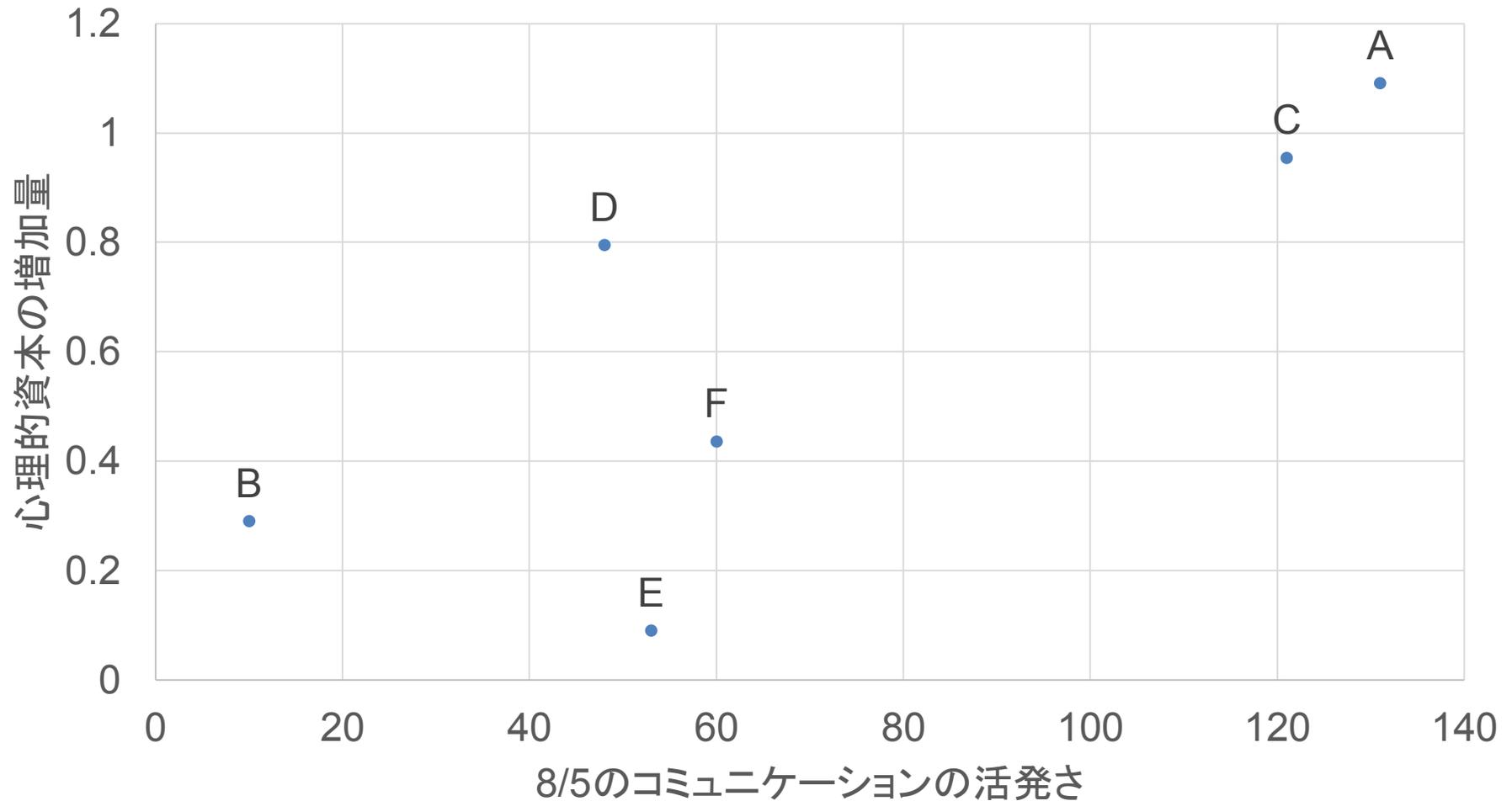
8/4午前



8/4午後

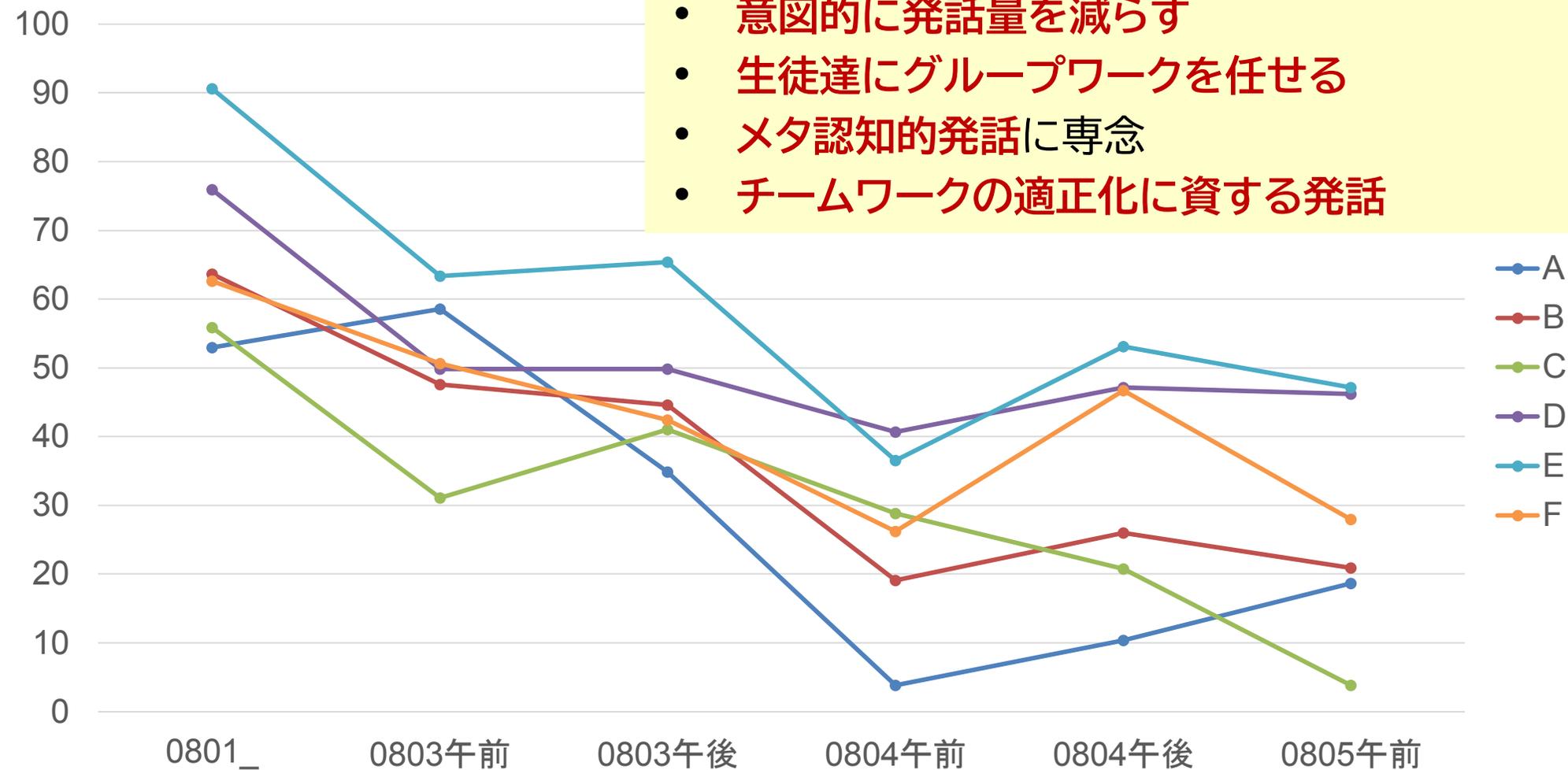


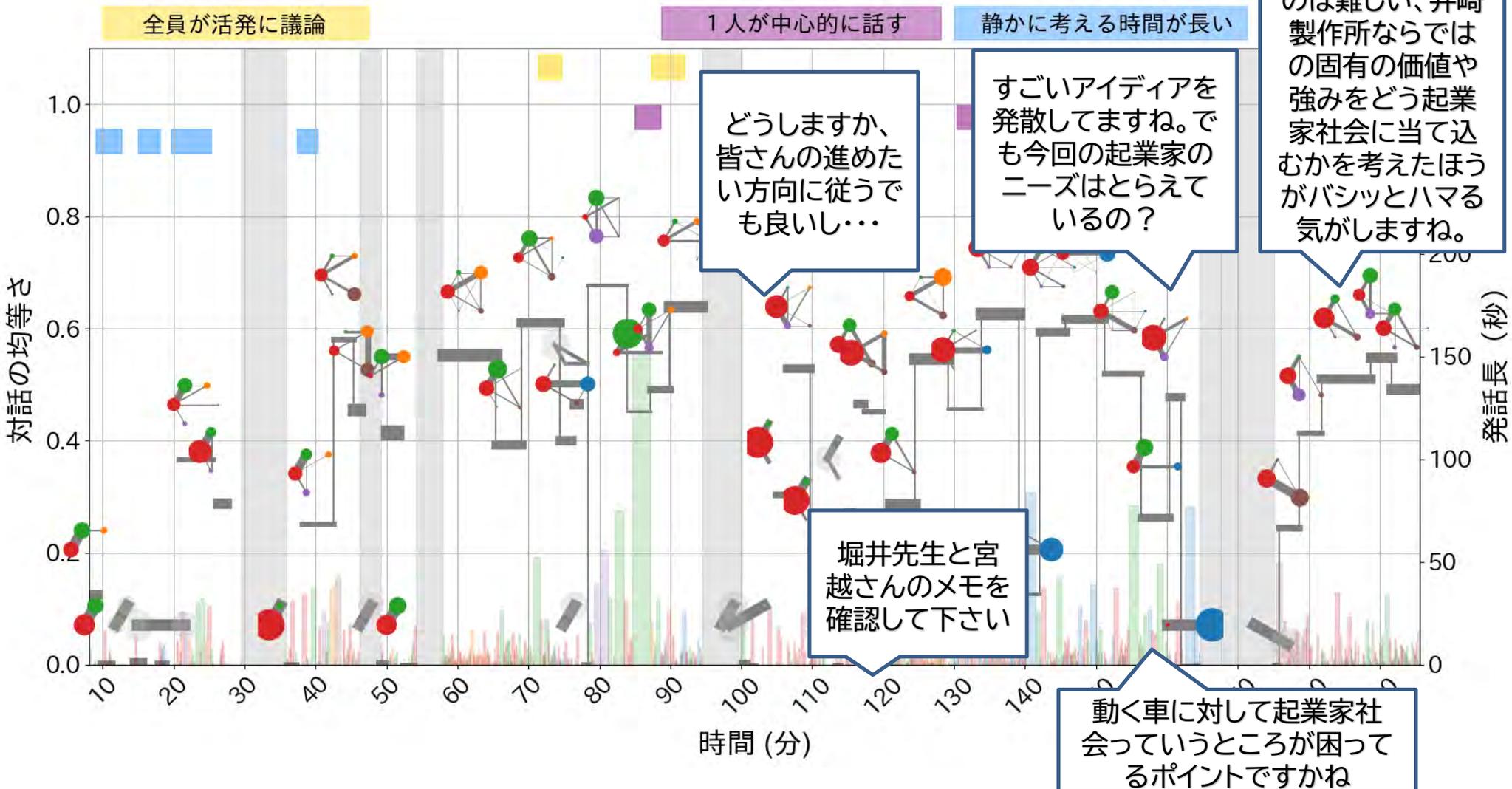
8/5午前



【A班の大学生DP(ディスカッションパートナー)の特徴】

- 意図的に発話量を減らす
- 生徒達にグループワークを任せる
- メタ認知的発話に専念
- チームワークの適正化に資する発話





Aチームのみに見られる特筆的なコメント

- アイディアがずっと出ない中、ある時パッと出てくるという出方が印象深かった。**耐えて耐えていいアイデアが出た時の達成感は何んとも表現し難い**
- **みんなで力を合わせれば困難なことでも成し遂げれる**。誰かと何かを成功させることは、とっても楽しい。
- 朝はまだアイデアが確定していなくて、**終わるのかどうか焦りと不安でいっぱい**。
- アイデアが中々出なく先が不安だった時があったけれど**足を止めずに歩き続けたら良いアイデアが急に出た**ので足を止めずに歩き続ける事は大事。

1. 新教科「グローバル協創」(文科情報科必須)
=文科情報科全員の必修 「学びのコア」
2. 授業研究と公開研究会(全職員, 全生徒)
=対話の深まる問いの工夫 「探究(コア)と教科をつなぐ」
3. イノベーションプログラム(希望者)
=TISP,米国短期留学 「社会(イノベーター)とつなぐ」
4. **海外研修・国際協働プログラム(希望者)**
=台湾・ベトナム・シンガポールとの協働プログラム
「世界とつなぐ」
5. 大学教育先取り履修(希望者)
=「植物の栽培と管理」「データサイエンス入門Ⅰ・Ⅱ」
「大学の学びとつなぐ」

本校の海外研修＝武者修行

(国内・海外の枠を超えて)

ベトナム

インカオバクワット高校

国家教育大学附属

グエンタットタイン高校

ミオス

シンガポール

シンガポール国立大学

附属数理高校

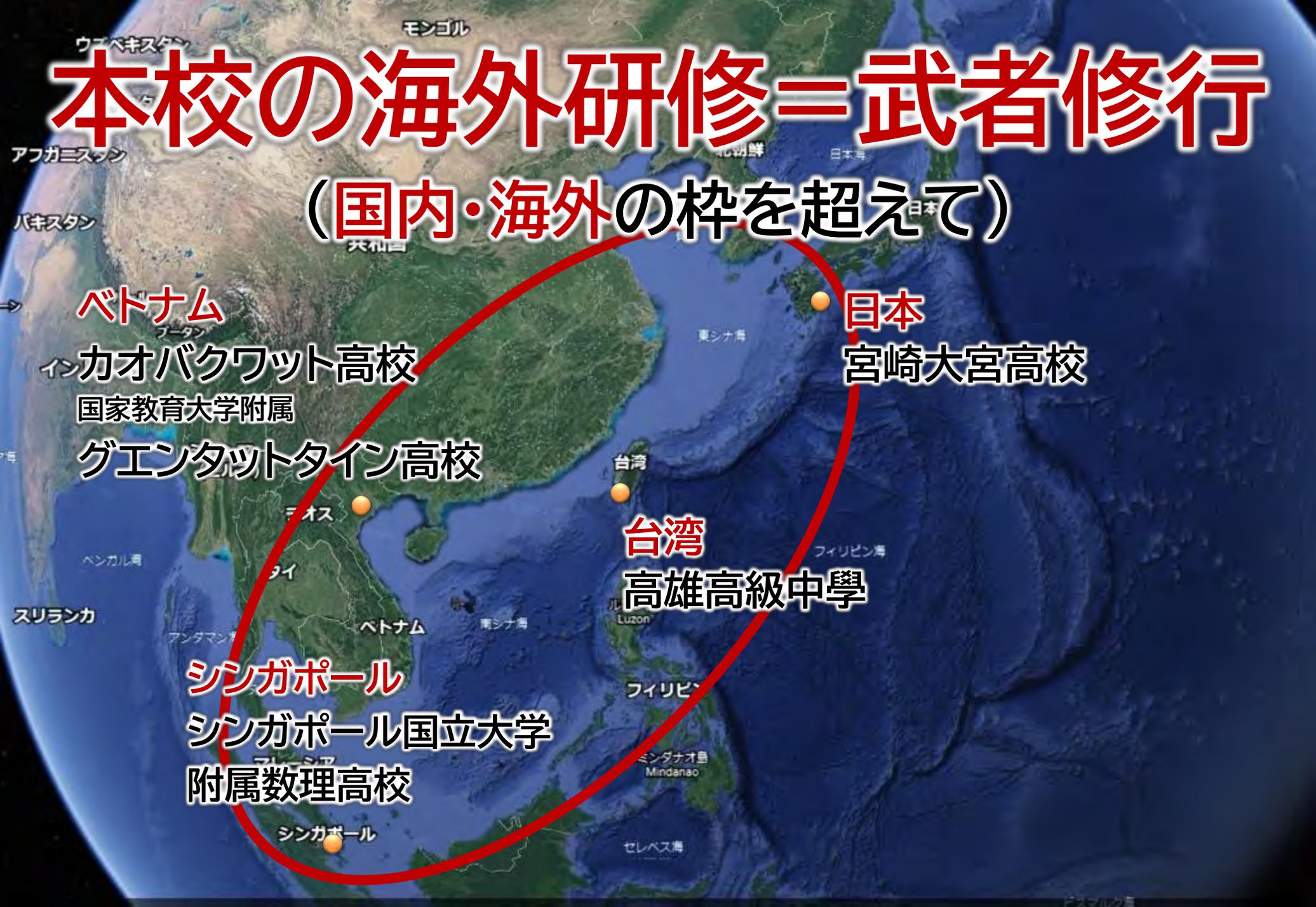
シンガポール

日本

宮崎大宮高校

台湾

高雄高級中學



台湾

シンガ
ポール

希望者2年

【海外研修】台湾・ベトナム・シンガポール 海外連携校の高校生・大学生と交流

ベトナム

ベトナム

HTX LÀNG GIÓNG
ĐIỂM XỬ LÝ MÔI TRƯỜNG - NUÔI TRỒNG - SẢN PHẨM HỮU CƠ
HOTLINE: 0934.688.868

Nguyen Tat Thanh
LOWER AND UPPER SECONDARY SCHOOL
Welcomes
MIYAZAKI OMIYA, JAPAN
August 2nd - August 17



希望者2年



シンガポール国立大学の学生と
フィールドワーク



【海外研修】探究テーマにもとづいて

フィールド調査(インタビュー・アンケート)



多文化理解

イスラーム文化, ヒンドゥー文化
中華文化, 欧米文化の理解



連携校でのプレゼン・ディスカッション

希望者2年

【海外研修】探究テーマについて

プレゼンテーション・ディスカッション



ファイナル・プレゼンテーション



国際連合本部



コロンビア大学



ボストン・ニューヨークの米国短期留学で
ラーニングストーリーをブラッシュアップする



ハーバード大学



マサチューセッツ工科大学



希望者2年



ウィンターオンラインプログラム
えびの市硫黄山からオンライン中継配信

希望者2年



S (camera)



A/ Ryota /Kobayashi



B/ Shingo /Kobayashi



Mr Wong (NUSH, Singapore)



Kara, Rei, Pin Che, Samantha (NUSH)



MOSH3(Monitor)



MOSH2(Monitor)



MOSH1(Monitor)



ウィンターオンラインプログラム
台湾・ベトナム・シンガポールの生徒と同時実験



◆オンライン国際協働プログラム 経験者と非経験者のGTEC(英語4技能)のスコアの伸びの差異

学科	月	R	L	W	S	Total
経験者	6月	216	216	234	257	922
	12月	238	236	246	272	992
非経験者	6月	193	197	230	242	861
	12月	210	212	235	247	904



希望者



【国内研修】台湾・ベトナムの海外連携校が 宮崎を訪問して交流



科学実験教室(樟脳の抽出)

ファイナルプレゼンテーション

希望者

【国内研修】台湾・ベトナムの海外連携校が
世界的な課題をサイエンスで協働で考える



森林フィールドワーク

1. 新教科「グローバル協創」(文科情報科必須)
=文科情報科全員の必修 「学びのコア」
2. 授業研究と公開研究会(全職員, 全生徒)
=対話の深まる問いの工夫 「探究(コア)と教科をつなぐ」
3. イノベーションプログラム(希望者)
=TISP,米国短期留学 「社会(イノベーター)とつなぐ」
4. 海外研修・国際協働プログラム(希望者)
=台湾・ベトナム・シンガポールとの協働プログラム
「世界とつなぐ」
5. **大学教育先取り履修(希望者)**
=「植物の栽培と管理」「データサイエンス入門Ⅰ・Ⅱ」
「大学の学びとつなぐ」

宮崎大学の学生が基礎教育として受講している講義を、宮崎大学の2種類の講義配信システムを利用し、夏休みの期間を利用して、受講を希望する県内の高校生がオンデマンドで受講。

【R4講義】29名受講

「植物の栽培と管理」

「データサイエンス入門Ⅰ」

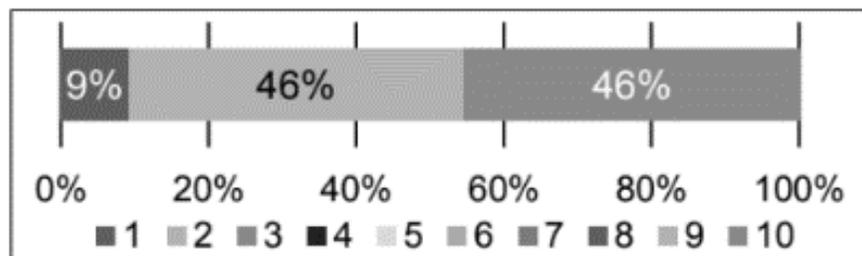


Fig.5 受講目的(理由)の達成度(1から10)

受講生徒の達成度(自己評価)が高い。

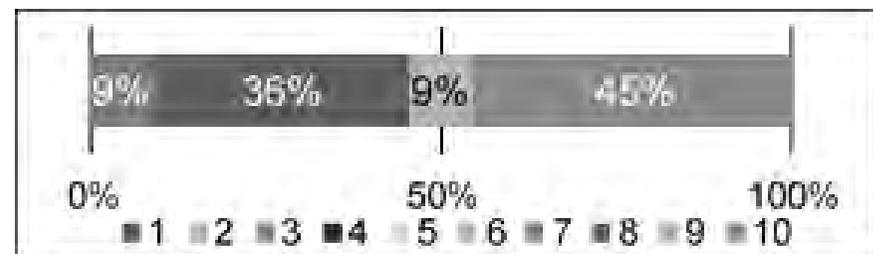


Fig.6 講義内容理解度自己評価(1から10)履修完了者のみ

受講生徒の理解度が高い。

成績通知書

令和3年9月7日

HAL さん

ひなたAL ネットワーク拠点校

HAL 科目成績通知書

以下の通り、成績が確定したのでお知らせします。

受講生	氏名	 	受講ID	HAL
	所属校	 	学科等・学年	
受講科目	科目名	植物の栽培と管理		
	講師	宮崎大学農学部 講師 松尾 光弘 先生	受講時間 (15時間)	15 時間
	受講期間	令和3年7月28日から8月22日	テスト実施日	令和3年8月27日
成績	種特性 (30点満点)	25.1 点	第1回から第14回までの講義における小テストおよび講義の感想・質問から算出	
	テスト (70点満点)	63 点	最終テスト(筆答)の選択式および記述式合計100点×0.7により算出	
	総合 (100点満点)	88 点	「種特性」および「テスト」の合計	
	総合判定	優	総合90点以上: 秀 89-80点: 優 79-70点: 良 69-60点: 可 60点未満: 不可 ※「可」以上が合格(履修完了)となります 不明な点などお訊ねしたら、下記「問合せ先」に連絡してください。	

【問合せ先】
ひなたAL ネットワーク拠点校
宮崎大宮高等学校
宮手 雅隆 先生
TEL 0985-22-5191

最終テスト採点結果

1 選択式テスト 54点(60点満点 各2点)

問題	正解	問題	正解	問題	正解	問題	正解
問1	○	問7	○	問13	○	問19	○
問2	○	問8	○	問14	○	問20	○
問3	×	問9	○	問15	○	問21	○
問4	○	問10	×	問16	○	問22	○
問5	○	問11	×	問17	○	問23	○
問6	○	問12	○	問18	○	問24	○

※詳細は配信システムにログインし、「MENU」→「テスト一覧」→「テスト履歴」→「詳細結果」から確認することができます。

2 記述式テスト 36点(40点満点)

問題	配点	得点	あなたの解答
問1	3	3	(35)人間が利用することを目的として、特別に用意された土地で栽培される植物。
問2	5	5	1:農作物、2:園芸作物、3:食用作物、4:飼料作物、5:工業作物
問3	4	4	(38)適切なpHでないかと作物は育たないから、pHによって栄養分の溶け方が違うから。
問4	2	2	輪作
問5	2	2	葉菜類
問6	2	2	果菜類
問7	2	2	根菜類
問8	3	3	IPM
問9	3	1	プラントオパール 機能肥料
問10	4	4	1:アミロース、2:アミロペクチン、3:糠米、4:糠米
問11	4	3	1:根粒、2:窒素固定、3:開花日数、4:結実日数 ③ 開花までの日数

大学の基準に基づき、成績を決定。教育委員会より「履修証明」を発行。
宮崎大宮高校の生徒には「学校設定科目」1単位を認定。
将来的には、大学での認定を目指している。

オンライン座談会



受講後、オンライン座談会で学びを深める

URL <https://sites.google.com/.miyazaki-c.ed.jp/miyazaki-omiya-wwl/home>



事業報告・研究開発報告

1. 令和3年度事業完了報告書 [完了報告書はこちら](#) .
 2. 令和3年度 研究開発実施報告書(第2年次) [全体はこちら](#) .
- 第1章 研究開発の概要 [第1章はこちらをクリック](#) .
- 第2章 ひなたアドバンスト・ラーニング・ネットワーク(ひなた AL ネットワーク) [第2章はこちらをクリック](#) .
- 第3章 カリキュラム開発拠点校における研究開発 .
- 3.1 WWLカリキュラム拠点校の開発目標 [3.1はこちらをクリック](#) .
 - 3.2 新教科「グローバル協創」の研究開発 [3.2はこちらをクリック](#) .
 - 3.3 新科目「グローバル協創Ⅰ」の研究開発① 小単元 協創基礎 [3.3はこちらをクリック](#) .
 - 3.4 新科目「グローバル協創Ⅰ」の研究開発② 小単元 グローバル・プロジェクトⅠ・Ⅱ [3.4はこちらをクリック](#) .
 - 3.5 新科目「グローバル協創Ⅰ」の研究開発③ 小単元 グローバル・コミュニケーション [3.5はこちらをクリック](#) .
 - 3.6 新科目「グローバル協創Ⅱ」の研究開発 [3.6はこちらをクリック](#) .
 - 3.7 新科目「グローバル協創Ⅲ」に向けた研究開発 [3.7はこちらをクリック](#) .
 - 3.8 普通科「総合的な探究の時間」の研究開発 [3.8はこちらをクリック](#) .

次年度以降のWWL拠点校としての取り組み

1. 新教科「グローバル協創」「学びのコア」
2. 授業研究と公開研究会「探究(コア)と教科をつなぐ」
3. イノベーションプログラム「社会(イノベーター)とつなぐ」
4. 海外研修・国際協働プログラム「世界とつなぐ」
5. 大学教育先取り履修「大学の学びとつなぐ」

成果を実感した拠点校としての取り組み

拠点校として、3年間の成果を踏まえて、次年度以降は以下の意向である

- ① 引き続き研究開発を進める
- ② 成果の普及を進める

《実現に向けて》

- ① 構築したコンソーシアムの協働体制を維持し、活用する方針である
- ② 県の事業化を進める構想である
- ③ 同窓会などからの財政的な支援を受ける予定である